

シジュウガラ



よく巣箱に入ってくれる鳥であります。素直さがよろしい。ヒガラ、ヤマガラ、コガラ、ハシブトガラ等々カラ類として括られる仲間達はしばしば一緒に行動しております。中にカラ類に含まれないキクイタダキとかエナガとかが混じることがあります。いずれも森林に棲む小鳥の中の小鳥でありまして、スズメを超える大きさではありません。これらの群れに遭遇する幸運に恵まれることは稀ではありますが、もしも遭遇しましたら観察力を最大限に発揮してください。シジュウガラは群れのリーダー的な存在に見えます。同じような習性なのに繁殖力や逞しさがちょっと勝っているように思うのであります。

巣箱使用中はそっとしておきますが、雛の巣立ちを確認したら、早速覗いてみましょう。苔を材料にしておりますので、周りは緑色の苔が敷き詰められております。真中に卵を孵し、雛を育てる育児サークルが雛の肌を傷めない柔らかい材料で仕上げてあります。芸術的な美しさを感じます。

小鳥たちは子育て中の自分の巣に近づく際には、とりわけ慎重になります。天敵たちに悟られない配慮をいたしますので、使用中を確認することは至難であります。雛が成長してきて頻繁に給餌する必要が高まった場合、確認しやすくなりはしますが、雛の成長はびっくりするほど早いので、すぐにもぬけの空になってしまいます。

使用済みの巣箱は掃除をしましょう。古い巣は取り除きまして、補修をしましょう。空にしてやりますと、再利用の確率が高まります。

4年目の活動に入ります札幌市市有林にこの春1ヶ所あたり50箱ほどの巣箱をかけました。残雪が2mほどもありましたので、梯子を使いませんでしたが、雪が消えますと手の届かない高さに架かっておりました。巣箱ですから廉価な板を使いカンナもかけず雑な作りなので、隙間が出来ます。隙間風や明るさは好ましくありません。隙間の出来ないように丁寧に作ることを次年度の課題にいたしましょう。

利用した鳥の種類とか利用率とか結果を楽しみにしております。

